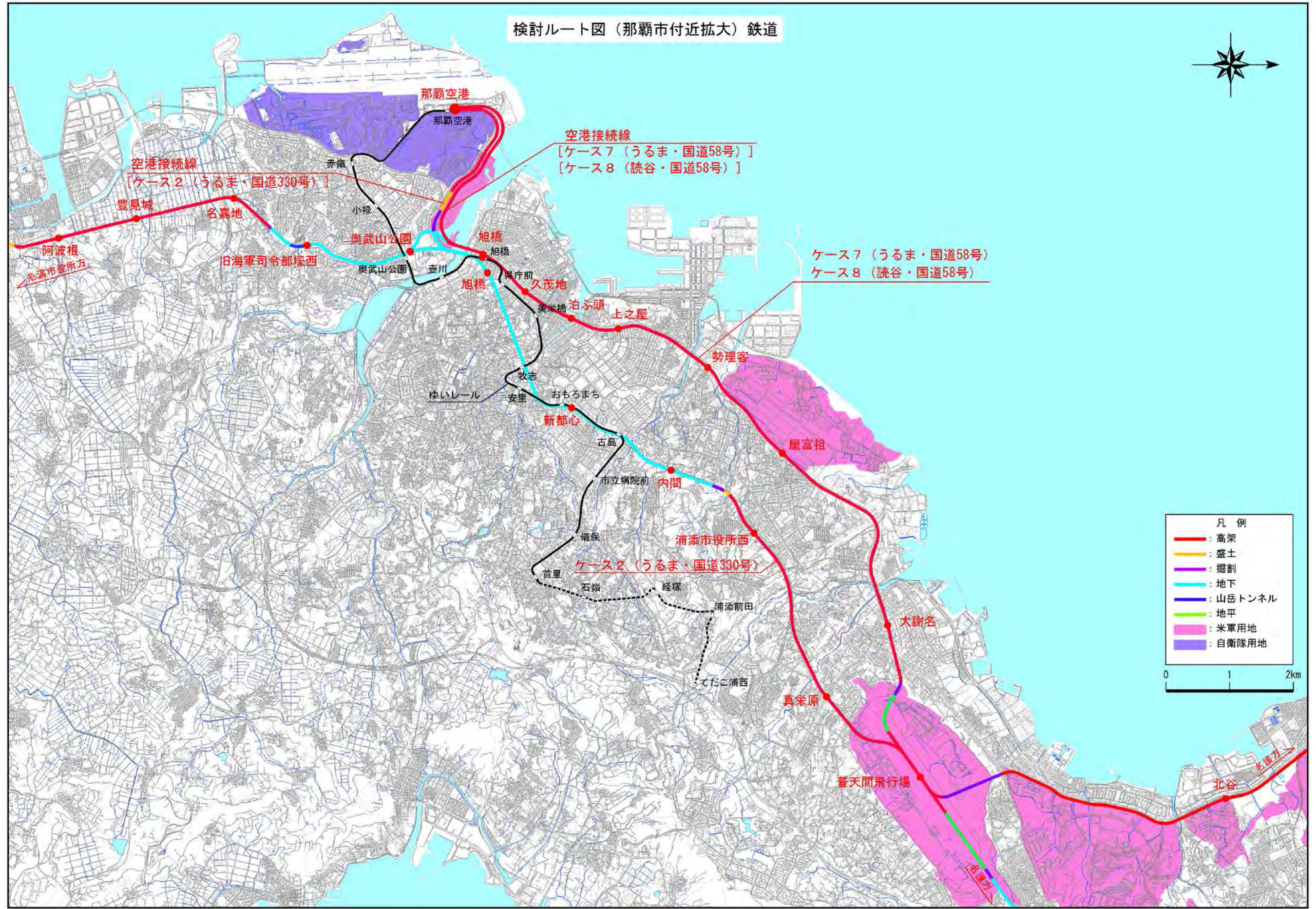


検討ルート図（那覇市付近拡大）鉄道



空港接続線
[ケース2（うるま・国道330号）]

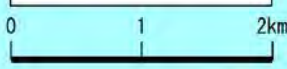
空港接続線
[ケース7（うるま・国道58号）]
[ケース8（読谷・国道58号）]

ケース7（うるま・国道58号）
ケース8（読谷・国道58号）

ケース2（うるま・国道330号）

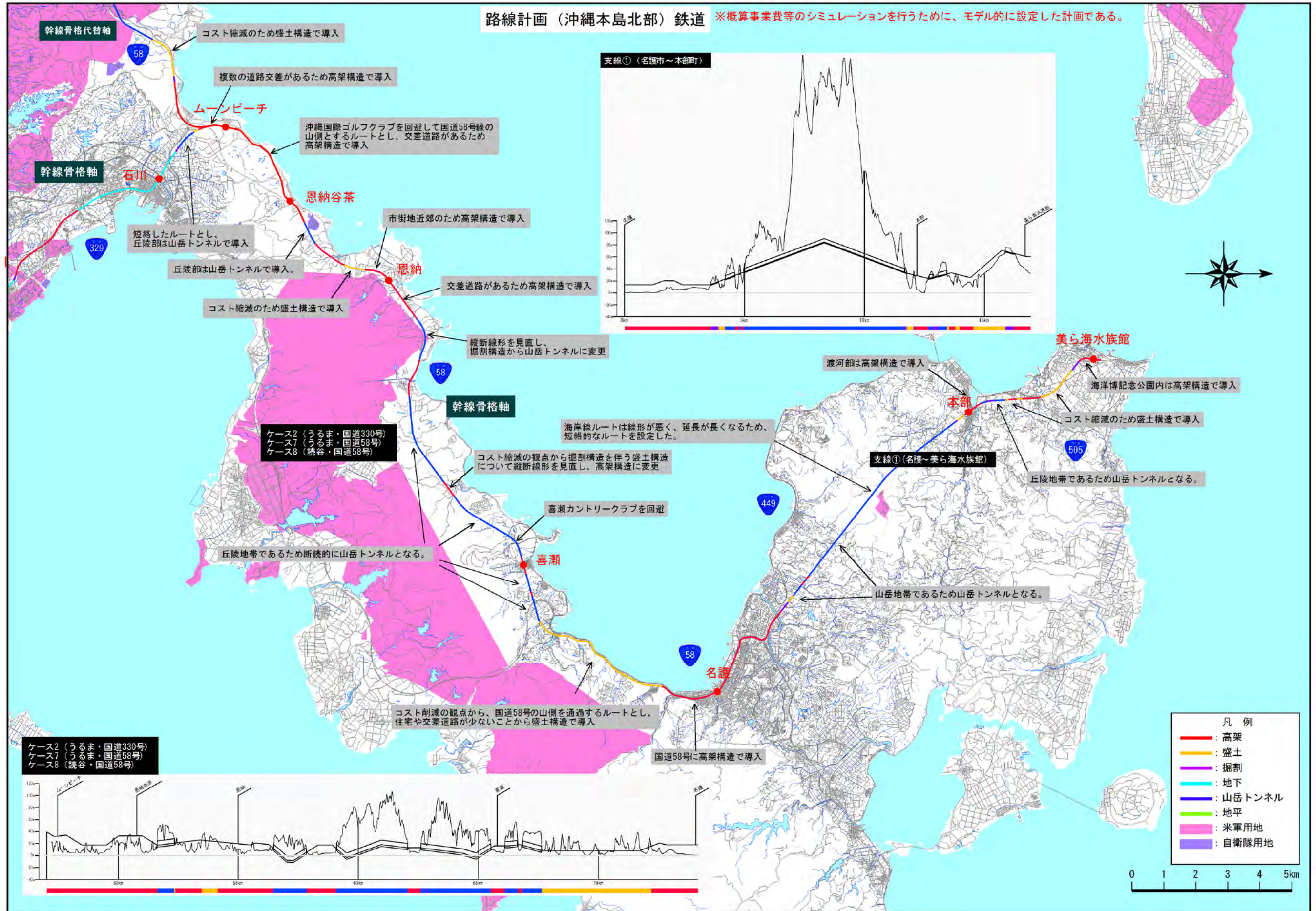
凡例

— (Red)	高架
— (Yellow)	盛土
— (Cyan)	掘削
— (Light Blue)	地下
— (Dark Blue)	山岳トンネル
— (Green)	地平
■ (Pink)	米軍用地
■ (Purple)	自衛隊用地

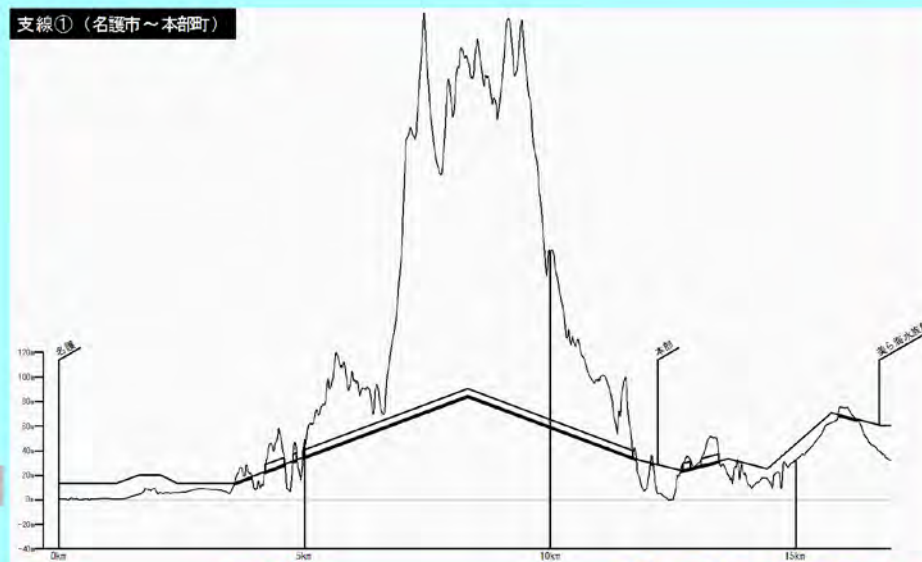


路線計画（沖縄本島北部）鉄道

※概算事業費等のシミュレーションを行うために、モデル的に設定した計画である。



幹線骨格代替軸
コスト削減のため盛土構造で導入
複数の道路交差があるため高架構造で導入
Moonビーチ
沖繩国際ゴルフクラブを回避して国道58号線の山側とするルートとし、交差道路があるため高架構造で導入
石川
短絡したルートとし、丘陵部は山岳トンネルで導入
恩納谷茶
市街地近郊のため高架構造で導入
恩納
丘陵部は山岳トンネルで導入。
交差道路があるため高架構造で導入
コスト削減のため盛土構造で導入
縦断線形を見直し、掘削構造から山岳トンネルに変更



ケース2（うるま・国道330号）
ケース7（うるま・国道58号）
ケース8（読谷・国道58号）

海岸線ルートは線形が悪く、延長が長くなるため、短絡的なルートを設定した。

コスト削減の観点から掘削構造を伴う盛土構造について縦断線形を見直し、高架構造に変更

喜瀬カントリークラブを回避

丘陵地帯であるため断続的に山岳トンネルとなる。

コスト削減の観点から、国道58号の山側を通過するルートとし、住宅や交差道路が少ないことから盛土構造で導入

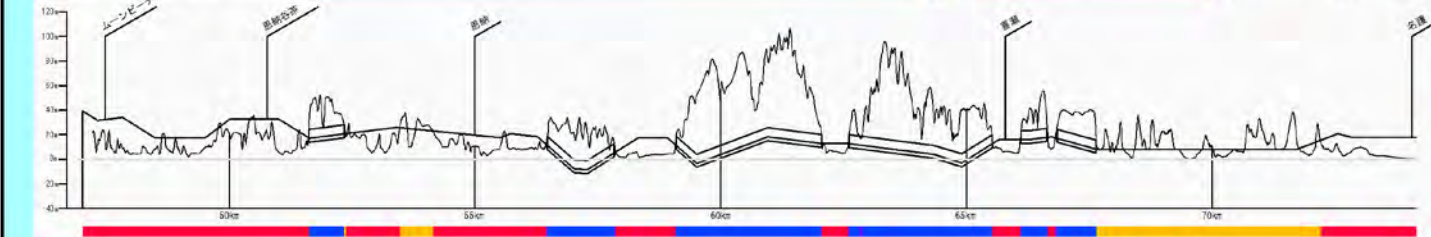
国道58号に高架構造で導入

本部
美ら海水族館
海洋博記念公園内は高架構造で導入
コスト削減のため盛土構造で導入
丘陵地帯であるため山岳トンネルとなる。

支線①（名護～美ら海水族館）

山岳地帯であるため山岳トンネルとなる。

ケース2（うるま・国道330号）
ケース7（うるま・国道58号）
ケース8（読谷・国道58号）



- 凡例
- 高架
 - 盛土
 - 掘削
 - 地下
 - 山岳トンネル
 - 地平
 - 米軍用地
 - 自衛隊用地

